

平成17年度第3回愛知県周産期医療協議会

議 事 要 約

日時：平成18年3月24日（金） 午後3時から午後5時

場所：名古屋第一赤十字病院 会議室1・2

委員

出席者：安藤委員、石川委員、石田委員、一木委員、犬塚委員、岡田(純)委員、岡田(節)委員、
可世木委員、小山委員、榊原委員、柴田委員、鈴木(悟)委員、鈴木(千)委員、成田委員、二村委員、松澤委員、
森川委員、山崎委員

欠席者：浅井委員、岩田委員、高橋委員、寺澤委員

事務局

出席者：愛知県健康福祉部児童家庭課長、愛知県健康福祉部児童家庭課主幹（母子保健グループ）
名古屋市健康福祉局健康部主幹（医務指導） 名古屋第一赤十字病院第二小児科副部長、名古屋第一赤十字病
院第二産婦人科副部長

欠席者：

司会者：名古屋第一赤十字病院第二産婦人科副部長

議長：安藤会長

1 安藤会長あいさつ

2 犬塚技監あいさつ

3 議事

(1) 平成17年度愛知県周産期医療情報システム

<17年度報告内容について>

*市町村合併に対するプログラム変更をしました。

<ホームページへの研究報告書掲載について>

*ホームページに調査・研究報告の掲載（県民公開）を考えていますいかがでしょうか。

*原則は公開で危惧するところを注意すればよいのでは。

*支障がある時は協議会で検討し掲載したらどうか。

*今回は保留とし、次回までに会長・副会長・事務局で検討してください。

<メーリングリストの利用について>

*情報伝達等に関して登録している方を中心にしたメーリングリストを立ち上げたいと考えていますがいかが
でしょうか。

*意見交換等に利用できるとよい。

*1グループ登録で申込みをお願いします。

(2) 平成17年度愛知県周産期医療専門相談事業の報告と今後の課題について

<平成17年12月17日（土）岡崎市民病院（西三河南部医療圏）>

*神奈川県立子ども医療センター 周産期医療部 新生児・未熟児医長 川滝元良先生による「胎児心エコー
の見方」の講演会を開催しました。

<平成18年2月4日（土）公立陶生病院（尾張東部医療圏）>

*名古屋市立大学産科婦人科助教授 鈴木佳克先生による「妊娠高血圧症候群の定義と分類および管理」の講
演会を開催しました。

*約20名の参加があり、活発な質疑がありました。

<平成18年2月11日（土）名古屋第二赤十字病院（名古屋医療圏）>

*聖隷三方原病院 おおぞら療育センター所長 横地健治先生による「軽症脳性麻痺の見方」の講演会を開催
しました。

*約50名の参加がありました。

<平成18年2月18日(土)トヨタ記念病院(西三河北部医療圏)>

*福井大学医学部産科婦人科学講座教授 小辻文和先生による「痩せと卵巣機能～少子高齢化における問題点～」の講演会を開催しました。

*約35名の参加があり、一般の方に広く聞いていただき内容でした。

<平成18年2月25日(土)一宮市立市民病院(尾張西部医療圏)>

*名古屋市立大学大学院医学研究科 生殖・発生医学教授 杉浦真弓先生による「不育症の検査と治療」の講演会を開催しました。

<平成18年3月4日(土)海南病院(海部津島医療圏)>

*星ヶ丘マタニティ病院 小児科 瀬尾智子先生による「周産期医療に関わる専門家が知っておきたい母乳育児の基礎知識」の講演会を開催しました。

*助産師・保健師を中心に約30名の参加があり、有意義な講演会でした。

<平成18年3月11日(土)名古屋第一赤十字病院(名古屋医療圏)>

*長野県立こども病院 リハビリテーション科 木原秀樹先生による「NICUにおけるディベロップメンタルケア」の講演会を開催しました。

*助産師・理学療法士を中心に約50名～60名の参加があり、活発な質疑がありました。

*今年度実施できなかった周産期センターは、来年度は是非実施をお願いします。

*年度後半から終わりにかけての日程になりがちですので、早めの開催をよろしくをお願いします。

*ホームページのweb上で参加登録をされる方もみえますので、出欠席の確認をお願いします。

*未熟児用の蘇生練習用人形を購入します。貸し出しますので事務局まで連絡ください。

*新生児蘇生プログラムに対応していきたいと考えています。

(3)平成17年度愛知県周産期医療調査・研究事業の中間報告について

<医療現場からの子育て支援の推進を目指した 医療スタッフ向け支援ツールの開発に関する研究>
あいち小児保健医療総合センター 山崎嘉久

*マニュアルを作成し、主要機関には4月中にCD-ROMの配布を予定しています。

*関係者にはホームページ等を利用したオンライン閲覧です。

*インターネットでアップロードをして検証中ですのでご意見をお願いします。

*詳細は資料 2-2を参照してください。

<周産期医療のオープンシステム化に関する基礎研究>

-患者さんの求めている周産期医療-

名古屋市立城北病院 柴田金光

*アンケート用紙を保健センター、助産施設等合計1,000件配布しました。

*回収率は5割超で現在集計中です。

*アンケート内容等は資料 2-3を参照してください。

*来年度の調査・研究のテーマの提案や意見があれば第1回協議会までに事務局まで申し出てください。

*予算上1～2テーマを予定しています。

(4)委員の追加について

*現在4大学病院は応需情報システムに参加していないので、将来的にネットワークに参加していただくことを視野に入れ名大・保健衛生大にも委員をお願いしたいと考えています。(名市大・愛医大は委員委嘱済)

*助産師会はどうするか。

*拡大解釈をして分娩・新生児を扱うところという考えで参加していただくという方向で支障がないか次回までに事務局で検討してください。

(5)NICU・PICUの稼働率などの統計について

*周産期に関する統計をもう少し詳しくとってきたい。

*現実に応需情報が的確にされているか、実情を把握したい。

*電話での応需の遣り取りは記録に残らないので、なまのデータをとるには工夫が必要である。

*協力いただける範囲で、基礎的なデータを蓄積していきたい。

- * 先方視的にシステム化し、調査しないとしっかりとしたデータがでない。
- * 必要な時に対応できるシステムで、地域性を考えなければならない。

(6) 報告事項

医師確保対策について

- * 産科・小児科等の特定の科で医師不足が大きな問題となっています。
- * 埋もれている人材に職場紹介するシステム等を作り、医師会と調整して実施していきたい。
- * 詳細は資料 3 を参照してください。

小児科・産科における医療資源の集約化・重点化について

- * 小児科・産科の医師偏在の問題については、医療資源の集約化・重点化を推進することが当面の最も有効な方策です。
- * 公立病院を中心とし、地域の実情に応じて他の公的な病院等も対象です。
- * 全国一律に実施するものではなく、地域における必要性和勘案し、実施の適否を含めて検討します。
- * 協議会としての意見を行政、県民に反映できるように前向きに捉えて欲しい。
- * 医務国保課までご意見をお願いします。
- * 詳細は資料 4 を参照してください。

周産期医療対策事業について

- * 総合周産期医療対策費
 - ・ 周産期医療協議会開催費
 - ・ 総合周産期母子医療センター事業費
 - ・ 周産期母子医療センター施設・設備整備費に充てられます。
- * 特定不妊治療費助成事業費
 - ・ 平成 18 年度から助成期間が 2 か年から 5 か年に延長されます。
 - ・ 報告等によると 10% ~ 20% が出産にいたると想定しています。
- * 不妊専門相談事業費
 - ・ 名古屋大学医学部附属病院に委託しています。
 - ・ 専門医等による面接および電話相談を行うとともに、不妊治療に関する情報等を提供しています。
- * 児童虐待対策事業費
 - ・ 虐待対対応策の強化や虐待防止の啓発を行います。
 - ・ 総合・地域周産期母子医療センターにおいても、窓口対応についてご協力をお願いします。

(7) その他

総合周産期母子医療センター実績概要について

- * 自らの施設で解決できず、再搬送しなければならない。
- * 搬送受入れの約 1 割を再搬送しています。
- * 破綻寸前であることを行政は認識してほしい。

平成 16 年度の NICU 利用実績等の修正報告について

- * 総合・地域周産期母子医療センターの現況の表で第二日赤病院、陶生病院、半田病院、岡崎市民病院の NICU・後方病床数の一部を修正しました。
- * 周産期母子医療センター NICU の利用実績の表には、平成 12 年度から平成 16 年度の取扱い実績を追加掲載しました。

PICU の総合周産期特定集中治療室管理料について

- * 地域周産期母子医療センターにおいても、施設基準および医師等スタッフの体制が整備されており、愛知県社会保険事務局長に届け出た保健医療機関は、母体・胎児集中治療室管理料を保険請求可能であることを、厚生労働省および愛知県社会保険事務局に確認しました。

- * 日本周産期新生児学会に専門医の資格をとるのに点数が必要なので、研修会等を申請して認定をしてもらうようにすすめてください。
- * 委員の委嘱任期は 18 年 5 月 31 日までですが、引き続きお願いします。
- * 平成 18 年度第 1 回愛知県周産期医療協議会を 6 月 9 日（金）に開催します。